

那須岳山行報告書

(山域) 那須岳連峰 茶臼岳・朝日岳／黒尾谷岳

(コース) 3月21日(土曜日)

ロープウェイ山頂～茶臼岳～峰の茶屋～剣ヶ峰～朝日岳～峰の茶屋～駐車場

3月22日(日曜日) モミの木台～黒尾谷岳途中 1300mm 付近～モミの木台

(日時) 3月21日(土曜日)～3月22日(日曜日)

(天候) 3月21日(土曜日): 快晴(雲無し)／3月22日(日曜日): 快晴(霞みあり)

(参加者) CL: 内堀(記録)・SL: 室・石橋・安岡

(山行タイム)

3月21日(土曜日) ロープウェイ山頂 11:10～茶臼岳 12:05～剣ヶ峰 13:15～朝日岳 14:20～
峰の茶屋 15:30～駐車場 16:20

3月22日(日曜日) モミの木台 9:40～黒尾谷岳 1300m 付近 11:15～モミの木台 12:00

(山行報告)

3月21日(土曜日)

本日はちば山お姉さま方との山行で少し緊張と、今日は下僕となろうと心に決め、自宅を出発して、安岡宅→室宅→国府台病院で石橋さんを拾い、外環三郷南 IC に乗り、東北自動車道走り、那須 IC で降り、近くのコンビニで買い物を済ませ、那須ロープウェイまで一気に進んだ。途中、東北道の入り口から断続的な渋滞があったが、意外と進みホット胸を撫で下ろした。3/20(金)からロープウェイは動き出しているため、駐車場は結構込み合っている。駐車場にて準備を済ませた。11:00 出発のロープウェイに無事 乗れ山頂へ向かう。東京の出て来た時は天気を心配したが、ここ那須は雲一つない天気である。写真にこの景色を収め出発。



雪の無い時は登山道が決められているが、この時期は雪の上を歩け気持ちが良い。斜度も少しきつくなり、雪が終わると茶臼岳に向かう登山道に。茶臼岳は噴火もあり全体に雪が他の山に比べて少ないようである。更に歩き続けると1時間弱で茶臼岳に到着した。茶臼岳には祠があり、簡単に参拝を済ませた。





茶臼岳からの山々の景色は久しぶり忘れていた感動を呼び起こしてくれた。感激である。



暫し休憩後、峰の茶屋に下降を始める。去年敗退した記憶が蘇る。風が吹き付ける峰の茶屋も本日は微風程度で穏やかである。振り返ると茶臼岳がドーンと見える。茶臼岳はこちらサイドから見た方が形が良い。ここより朝日岳に向かうにはトラバースをするだが、本日は剣ヶ峰コースにする。ガレ場が続く嫌な感じであるがそのまま登り切り、簡単に山頂へ到着した。山頂は小さな表示板があるのみであった。お地蔵さんもあった。



剣ヶ峰からの下降が本日一番厳しいものであった。下降途中携帯電話が鳴り始める。アッ忘れた入山報告していない。安全な場所まで下降して携帯電話にて八角さんに電話して、入山連絡する。「入山報告が遅れ申し訳ありませんでした。車に乗る時点で入山連絡したいと思います。反省」無事剣ヶ峰を降りて、朝日岳に向かうが、ここもトラバースしながら登り続け朝日の肩に出る。ここからは、朝日岳までは簡単に登ることが出来た。途中、室さんは朝日岳の難所でビビり、ここで待機する事となった。朝日岳への道はアルペン的でありこの時期は厳しい物である。朝日岳山頂からの景色はこの日一番の景色と言って過言ではなさそうである。

来た道には茶臼岳・奥には三本槍岳があり、更にその左奥には上越の山々が見える。美しい。



変なルートから人影が見え何処に降りるのかと考えながら、朝日岳を後にし下山を始める。途中、室さんと合流して剣ヶ峰ルートコースを止め、トラバースコースを選択する。登りが無い。室さんと私はアイゼンを装着して一歩一歩進みトラバースを抜けようやく峰の茶屋に到着した。先行した二人と合流して、簡単な休憩を済ませた。この時間でも快晴であり、奥までよく見える。ここより一気に駐車場まで下山を開始する。下山は皆様早い。峠の茶屋に到着した。鳥居が埋まっている。12月にはこの鳥居を潜った記憶がある。2m以上は雪がある事が容易に伺えた。



峠の茶屋でルート外から移動した人を発見し、お話を聞いた。くのじ沢から入り朝日岳に登って来たとの事。この時期にしか出来ないようであるとの事でした。地元の方であった。駐車場に戻り急いで宿に向かう。去年も宿泊した。激安旅館 おおるり山荘（那須高雄温泉）本日はこの宿も、春休みと全国的な休日なため満杯であり、一部屋での宿泊となる。宿泊者が多いため2シフトの食事となり我々は遅い組の18:15～の開始であり、時間もあるため、まずは入浴し登山の汗を流す。アナウンスがあり食堂に向かい、開始時間を待つ。バイキング方式のため食べたいものを入れ、席に着く。また、ビールを用意して全員で乾杯する。1時間も過ぎ部屋に戻り、持参したお酒（ワイン・日本酒：生酒）を飲みながら、時間が刻一刻と過ぎて行く。ワイン1本・日本酒1本を開けた所で、お開きとし就寝する。

3月22日（日曜日）

朝起きたらお酒が相当残っている。気持ち悪い。安岡さん、室さんは朝風呂に出掛けた。元気朝食も8:15開始と遅く、待ちくたびれてしまい。お腹がすきすぎ気持ち悪くなる自分がいた。朝食を済ませ、準備を済ませロビーに降り、会計を済ませた。[安いね一人当たり@5.900](#)也車で那須ハイランドのそばのモミの木台に向かうが、道路が四方八方にあり、行き止まりが多く何回か間違えながら側まで来た。駐車場が見つからず、道路に駐車した。行き止まり部分で駐車したため、これ以上車は来ることが無いだろうと判断して止めてしまった。登山準備後、登り始めるがルートが見当たらない。GPSにて確認し右側に進む。GPS地図上に乗っているか確認し、この位置より登り始める。トレースは無く登った形跡「0」で

ある。ツボ足で登るが膝まで何回も潜りながら進むしかなかった。登り始めてすぐに岩場が出てきて、この岩場を乗り越えるのに少し時間を費やした。この先は緩やかな斜面が続き、雪も締まったようであり、グングン進んでいく。更に進むと急斜面が表れ、また、雪にハマりながらの登りとなる。GPSを見ると1300m弱である。安岡さんが木についている表示板を発見。急いで向かうが残念なことに登山標識ではなく、樹木を表しているものであった。残念である。少し上に表示板発見、ようやく登山道のルートを確認出来た。左にモミの木台、右に黒尾谷岳登ってきたルートが正しい事を理解した。赤テープは一個も発見出来なかった。時計を見たら11:10頃で、高速道路の渋滞も考えると早めに移動したいと思い、ここで記念撮影を済ませ、一気に下山し12:00前には車まで戻ってこられた。また、私の宿題が出来てしまった。私の誕生日（56才だよ）を飾ることは出来なかった。残念である。可哀そう。去年の宿題を終えた所であるが、来年の残雪に来てルートを考えよう。茶臼岳より南月山経由で黒尾谷岳に来て、下山するのも良いかと思った。車に戻り、南ヶ丘牧場にてお土産を買い一気に来た道に戻り、自宅に着いたのが17:10であった。

（おおり山荘バイキング風景：値段が値段なのであまり期待しないように。）



（黒尾谷岳途中1300m付近の表示板をバックに写真撮影）



以上